

# 復興に駆ける！

第 25 号  
平成 26 年 5 月 7 日発行  
岩手県立  
生涯学習推進センター  
TEL 0198-27-4555

◇ 今回はこちらの団体を紹介します。

## おぢや 小千谷復興支援室

地域復興支援員 おがわ 小川 あきら 晃さん、いしぞね 石曾根 とおる 徹さん、かとう 加藤 けい 圭さん



左から石曾根さん、小川さん、加藤さん

新潟県小千谷市地域復興支援員の活動費は、平成 19 年に設立された「新潟県中越大震災復興基金」を活用し、その運用益から捻出されている。それまで行政からの支出は、物に対しては認められていたが、人に対して認められていなかったため、初めてのケースとして画期的であった。

この基金は、比較的自由度が高かったこともあり、神社の復旧にも使われた。この地域では震災前から

境内でラジオ体操や祭りを行うなど、神社が地域コミュニティの中心となっており、人々が集まる場所の復旧として基金が活用されたのである。この他にも、「コミュニティ再建事業」として、獅子や太鼓、子ども用のはんてんなど、代々引き継がれていく祭りに関連する物品の購入にもこの基金は活用された。また、震災を風化させないための記念の石碑（上の写真）の設置や集会所の建設費用にも活用されている。

ハード面の整備が一段落した三年目になると、今度は地域おこし団体の活動を支援するソフト面の「地域復興デザイン策定」「地域復興デザイン先導事業」などの支援へとシフトしていった。これは、直売所や農家レストランなどを立ち上げ、運営するという第 6 次産業分野への支援である。これにより、実際に農家レストランや直売所が立ち上げられている。今年度は、「地域資源活用・連携支援」「地域経営実践支援」が追加され、それにより起業した団体等のフォローを行っている。

小千谷市には現在 9 名の地域支援員がいて、それぞれの担当地域に入って活動を続けている。地域コミュニティを維持するために、高齢者宅の訪問活動や買い物支援など地域に密着した活動も続けている。「10 年経っても支援活動の答えは見つからない。これまで住民に気づきを与え、それをサポートするという考えで活動を続けてきた。あくまで主役は住民である。岩手県でも支援活動を継続する中で、このことを忘れないで頑張ってもらいたい。」と小川支援員は本県へエールをおくってくれた。

(※ 3 月 4 日、小千谷市の事務所にて三橋が取材)

### 連絡先

小千谷復興支援室  
TEL 0258-83-2401  
Email: info@ojiyafukko.com